

## 令和5年度町政懇談会意見交換要旨

【目的】 町長が各自治会に出向き、テーマに沿って意見交換を行い、今後運営に資するもの

【期間】 10月21日(土)～11月23日(木) 10日間 【テーマ】 公共施設の再編について

【対象】 町内の自治会 【参加者数】 206名

### 意見交換要旨

	住民からのご意見	町からの回答
1	東地区の公共施設再編はダイオキシン類を含む廃棄物の最終処分も一緒に進めていくとのことだが今ネックになっていることは。 ダイオキシン類を含む廃棄物の最終処分が出来ないと施設再編は成り立たないのか。	地元の合意が課題である。 ダイオキシン類を含む廃棄物の最終処分を併せて行うとしており、最終処分が進まない限り施設再編は進まない。
2	過疎債はいくらでも借りられるものなのか。	枠があるというのではない。協議の中で決まっていく。
3	ふれあい広場を利用している。新しい施設を作るとのことだが、テニスコートやグラウンドは他の場所に確保されるのか。	ふれあい広場の機能はどこかで確保する考えである。
4	財政上の優遇措置（過疎債）は令和12年度末までに施設を完成させることが条件なのか。	令和12年度末までに完成させなければならない。限られた期間の中、スピード感をもってやっていく。
5	過疎債は統合する施設にだけ使えるのか。残った施設に対しても使えるのか。	既存施設の解体にも過疎債は使える。規模は小さくなるが既存機能は持たせた上で整備する。
6	現状の施設を集約したとき今の利用者の利便性はどうか。	新しい機能について決まっているものはない。これから皆さんの意見を聞きながら進めていくので、ぜひご意見いただきたい。
7	子どもが利用しやすい施設があったらいいと思う。土日は町外へ出て行って遊んでいる。土日に遊べる場所がほしい。	貴重なご意見として承る。これから子育て世代のご意見も聞きながら進めていきたい。
8	子育てしていく中で、すきっぷ、図書館が別々にあるので不便だった。近くにあると使いやすい。複合で公園もあればいい。	すきっぷは、施設再編までは光風台で行っていく。再編後は図書館の近くで行いたい。
9	過疎債の条件はあるのか。	令和4年9月に過疎計画を策定しており、計画に基づき町の課題を解決するために行う事業が対象となる。建物を解体するだけで用途のないものは対象外となる。
10	更地にして建て替える場合、仮の移転先はどこになるのか。移動するための交通インフラ（無料バス）はあるのか。	優先順位を考えながらできるだけ不便のないように進める。仮に距離のある場所になったとしても、今のところ無料バスなどは考えていない。
11	スクラップアンドビルドということなら、ふれあい広場にもっていったらいいのでは。	手法はいろいろあると思うので、地域の皆さんのご意見も聞きながら、またワークショップもやりながらより良い方法を考えていく。
12	過疎債は令和12年度期限ということだが、スケジュールがタイトなので期間延長などを国に働きかけられないか	今の過疎法は令和12年度に切れることになる。これまで5400億円が発行され、延長されてきた経過もあり、法が切れるかは分からないが、今は令和12年度末を目指して最大限努力していく。

	住民からのご意見	町からの回答
13	吉川中学校の更新費用(46 億円)は財源の当てがあるのか。(資料「豊能町公共施設等総合管理計画」からの質問)	この数字は今のまま改修しないで 40 年間維持するとなるとこの金額になるというもの。
14	小中一貫校の費用は別なのか。	小中一貫校の整備費用として、令和 2 年時点で、東西合わせて 35 億円の試算が出ている。
15	資料には施設を集約すると書かれているが、合同庁舎的なものなのか。西公民館、中央公民館などの公民館施設を 1 つにするのか。中央公民館は避難所だが雨漏り、和式トイレなど避難所としても不便だ。学校体育館は避難所としては使いにくい。中央公民館は利用しやすい施設にしてほしい。	西公民館と中央公民館を一つにすることはない。西と東で別々に検討する。公民館機能、診療所機能は残す。永寿荘は機能的に中央公民館と似通ったところがあるのでコンパクトにするともある。災害時に活用できるようにする。診療所も 2 階は使っていないのでコンパクトに出来る。基本設計の時に皆さんの意見を活かす。建物を 1 つにするのかはこれからの検討。管理しやすいように考えていく。
16	施設がありすぎる。何が無駄かをオープンにしてほしい。	無駄な部分は利用状況を踏まえながら検討する。コミュニティ施設としての機能に関する部分は人口規模でコンパクトにできる。
17	集約移転後の跡地の活用は。解体費もかかると思うが。永寿荘の跡地の活用は。	中央公民館、診療所、旧ふたば保育所の施設を解体して新たに建てる。周辺の空いた所は駐車場として利用することになると思う。永寿荘の跡地は民間で有効に使って頂くことも考える。ふれあい文化センターは、地元と相談して有効に活用したい。過疎債については、施設の取り壊しにも使える。
18	国保診療所を取り壊したときの代替施設についてどう考えているのか。	国保診療所は東地区の医療の拠点と考える。診療所の南側を整備してその機能を先に構築してから移転するなど休診する期間が短くて済むように進める考え方もある。今あるサービスを長期間止めることのないようにしていきたい。
19	資料中、財政シミュレーションの歳入歳出のグラフで、歳入歳出が一緒なのになぜ基金が減るのか。	歳入に基金を充当して収支を合わせている。
20	考え方の根底として東西それぞれ整備することだが、その発想を続けるのか。一体となってやるべきでは。箕面森町へのアクセスも含めて交通網を整備すれば東西を分けて考えずにできるのでは。	いろんなご意見をいただきたい。例えば公民館を一つにするとコミュニティ施設として使えるが、移動の問題がある。今は東西それぞれで機能を再編する方向で考えている。また東西移動については、路線バスに乗り中止々呂美バス停で乗り継ぐことや東西デマンドタクシーをご利用いただきたい。
21	統合したほうが利用者も増えると思うが。	一か所にできるものについては、住民の理解が得られるように検討したい。
22	現状の施設はさほど分散していない。まとめることでどれくらい効果があがるのか。	施設を集約して、コンパクトにまとめることで管理コストを削減できる。
23	東はダイオキシン問題がある。駐車場にしか使えないと聞いた。またスケジュールもタイトなので急いでやらないといけない。	タイトではあるが、住民の理解を得ながら進めて行く。令和 4 年 8 月にダイオキシン類を含む廃棄物の処分は施設再編と併せて取り組むことが決定した。今は埋設・処分について地元と協議をしているところであり、引き続き尽力していく。処分後は、2 年間の経過観察のあと駐車場として整備する。まずその場所を決めた後、その場所を除く場所で施設再編を検討していく。



	住民からのご意見	町からの回答
24	(資料中) 財政シミュレーションの表で基金取り崩しの欄を設けたらよく分かるのでは。	今後はご理解いただけるよう資料について工夫する。
25	東地区については、希望ヶ丘が一番人口が多い。ダイオキシンの話も理解できるが、余野ではなく希望ヶ丘に公共施設をもってきたらどうか。	ダイオキシン問題は、町の最重要課題としてこれまで 25 年間一生懸命取り組んできた。最終処分ができるよう鋭意努力しているところ。ご意見として承る。
26	(資料中) 財政シミュレーションで令和 6 年、7 年の歳出が増えている。何か根拠があるのか。	小中一貫校の整備費を見込んでいるため歳出が増えている。
27	具体的な再編スケジュールは。	東地区に関しては、素案であるが、ワークショップなどをやりながら令和 6 年度に基本計画をたて令和 7 年度に基本設計、令和 8 年度に実施設計を行い、令和 9 年度に工事が完了する予定で進めて行く。
28	基本計画には、お金を生む話も書いてほしい。	計画を作りこむなかで検討していく。
29	施設再編で空いた場所をどのように活用していくかが大事。収益をあげられるようなものにしないと。	空いてくる施設は公だけで何かすることは考えていない。民の力も活用して進める姿勢もっている。
30	再編の中でシートスが入っていないがなぜか。	シートスは平成 8 年に健康増進に資する施設として建てたもの。比較的建築年数が浅く更新はまだ先と考えている。引き続き必要な管理を行っていくのでご利用いただきたい。
31	再編後、マイナスになることは何か。	サービスについてはそのまま考えているのでマイナスにはならない。ユーベルホールの収容能力、コミュニティ施設としての西公民館と豊寿荘の規模が変わる。機能は残すがコンパクトに。それぞれの施設について別棟とするのか一体的に整備するのも検討していく。
32	資料の裏面には統廃合される学校の費用も入っているが小中一貫校の考え方に変わりはないのですか。	資料の公共施設等総合管理計画は平成 29 年 3 月に作成したもので、東西にそれぞれ小中一貫校を整備する考え方は変わらない。
33	事業規模の想定は。東地区令和 9 年度完了、西地区令和 12 年度完了だとスケジュールがダブるが大丈夫なのか。	小中一貫校は、令和 2 年の試算では 33 億円かかるとされており、これも踏まえながら進めていく。公共施設再編検討委員会の中で示した資料（施設整備費用の極めて粗い試算）によると、公共施設の再編に係る費用は概算で東地区 7 億円、西地区 22 億円、全部で 29 億円程度となっている。PPP、PFI といった手法も検討していく。施設の雨漏り等老朽化がひどいので、今この時期に再編していきたい。その中でダイオキシン類を含む廃棄物の最終処分については最優先とし、公共施設の再編に合わせて処分していく。これまで地元自治会と協議をし、地域の活性化に繋がるのであればということ苦渋の選択をいただいたところであり、ようやくスタート地点についたと考えている。

	住民からのご意見	町からの回答
34	公共施設に本庁も入っているのか。	本庁は入っていない。建設には過疎債が活用できない。同じ規模の自治体を見ると本庁の建設に 40 億円かかったと聞く。熊本地震では危機管理室のある庁舎が潰れたと聞いた。そうしたことは避けたい。本庁は小中一貫校の整備後、空いた学校の利活用などを含めて検討したい。
35	40 年経過ということだが、マンションは大規模修繕に向けた積み立てをする。豊能町は何かしてきたのか。	基金を積み立ててきたが、減っていく状況にある。
36	施設の老朽化、建て替えを令和 12 年度までにしたらまた 40 年先に同じことが起こる。いつきに負担がかからないように。	これまで長寿命化に向けてメンテナンスをしていたのかどうか。今後はしっかりメンテナンスも行い負担を平準化していく。
37	ふれあい広場は平坦だが使用がしにくいのではないかと。箕面トンネルを抜けてくるとよく目立つ場所にある。森町公園みたいに芝生を張って若い人たちが遊べる場所になればよい。そこに施設を建てるのはやめてほしい。公園整備で若い人たちに来ていただける可能性が出てくるのでは。	施設集約の場所は、ふれあい広場から豊寿荘周辺としている。今の公共施設を集約しコンパクトにしていくので土地が余ってくる。普段から世代間交流ができる場所があればよいと思っている。
38	どうしても東西別々の議論になる。学校もそう。同じ施設がどちらにもある。効率化の足かせになっているのでは。そこを解消しないとけないのでは。	学校を東西で一校ずつ作ることは、4 年前の選挙の争点だった。2 小 2 中が民意だった。その結果今の 2 小 2 中があると考えている。公共施設も公民館機能などは両方にあるが、今のところ基本方針ではそのまま両地区でその機能を持たせる考えである。
39	西公民館をコミュニティセンターでひとまとめにしてはどうか。今は販売等の使用ができない。お金を回す意味でそういう施設にしてはどうか。ユーベルホールも高くて簡単に借りられない。使いたいけど敷居が高い。再編でもっと使いやすくしてほしい。	公民館は営利目的では使えない。検討が必要である。
40	国の補助金（過疎債）を確保するために法律に基づいて申請するのか。時限立法か。	過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法で決まっており、令和 12 年度までに完了する必要がある。これから 50 年先を見据えてまちづくりをしていく。
41	東西に分けて人口推計して、東の施設整備は人口を見据えてするのか。過疎債で使える内容は？	過疎債は、行政庁舎の建設以外で使える。取り壊しにも過疎債は使える。今の段階で規模感として示せるものがない。ユーベルホールは財政力があつた頃に建てた施設。今は毎年 4000 万円の赤字となっている。永寿荘、中央公民館は複合化していく。
42	令和 12 年度までに完成と聞いたが、それまでの間、今の公共施設の維持管理の費用はどうなるのか。	それについても措置していく。施設の再編後は、住民参加の施設管理を行っていききたい。今も中央公民館については、図書館と公民館の機能を兼ねており、そのような複合化を進めていく。今後、修繕にお金がかからないよう、積み立ても行いながら進めていく。



	住民からの意見	町からの回答
43	平成 28 年で 300 億円ですよね。物価高騰により 400 億円くらいかかるのでは？（資料公共施設等総合管理計画より）	資料は、今の公共施設を維持すれば平成 28 年から 40 年間の改修・更新費用として 300 億円程度必要になるというものがある。
44	各施設の集約の考え方について。1 つの施設を作るのか。	ふれあい文化センター是集約化する。永寿荘や中央公民館をそのまま維持するのではなく機能を集約する。管理については複合してコンパクトにしたほうがよい。需要と供給の接点を見つける。
45	現状のままだと公共施設の改修・更新費用は 300 億円。削減のシミュレーションはないのか。	建て替えると修繕費用が削減できる。効果額を出していく。
46	維持費がかかる中で耐震化できていなかったのはどこか。	中央公民館と永寿荘、郷土資料館、ふれあい文化センター、本庁が耐震化できていない。
47	ふれあい文化センターを借りているが使いにくい。休みが多い。その都度職員に負担がかかる。借りる時に気をつかう。コピーしたくても閉まっている。今後、場所を借りて自治会館、避難所として建設したいとも考えている。建設資金も貸してくれないか。	ふれあい文化センターについては機能を集約する。残った建物の扱いについては自治会と協議していきたい。
48	人口が減るのに 35000 人の発想が変わっていない。お金がない中では、やめていくことも大事。さらに借金を増やすことはやめて、そぎ落とす発想に変えていく必要があるのでは。	現在の施設面積は、35000 人規模のもの。半分以下になる人口を想定して、施設面積も半分程度にしたい考え。機能を残しつつ建設面積を半分程度にしたい。町の財源だけで建てかえるのは無理であり、過疎債を活用し無理のない財政負担の中で公共施設を維持していく考えである。
49	スクラップ&ビルドではなく、スクラップだけでいいのでは。規模を小さくしても借金が残るのなら、やはり切っていくべき。今後はもっと人口が減る。	貴重なご意見として承る。
50	これまでに住民意見交換会を開催され、過去に参加した。どうしても西と東に同じものを建てるという発想が見受けられる。人口比に対して建物をどうつくるか。特化する必要があるのでは（東西で）。東は診療所に特化すればいい。いい診療所機能をつくる。西はコミュニティ機能を中心につくる。同じ機能のものを 2 つ作っても仕方ない。建築費が 40 億～50 億かかるとすると、その 3 割は借金になる。借金を赤字の中から返すことになる。	資料の中の令和 11 年から基金が枯渇するというのは、このまま公共施設を維持すると、改修・更新費用に 300 億円がかかり、赤字に転落するという意味である。赤字に転じている中で、まだ借金をするのではなく、赤字を避けるために施設再編を行う必要がある。
51	小中一貫校と公共施設再編とはどう絡むのか。またふれあい広場をどう使うのか。小中一貫の開校と同時にこども園も開園しないのか。	今の吉川中学校の敷地内で一貫校は進めており、それ以外の場所（ふれあい広場から豊寿荘周辺）で施設を再編する。そのための整備計画を立てていく。こども園についても併せて整備していくが、まだ具体的な場所が決まっていないので、少し時間がかかる。

	住民からの意見	町からの回答
52	再編のシミュレーションはまだか。雨漏りがひどい施設が多い。ユーベルも多目的ホールとして取り込んでやる。個々の建物をどうするのか。鉄筋コンクリートはつぶしてほしい。新光風台は足の便が悪いので、居場所確保のため、今の場所よりもう少し近いところで集える場を考えてほしい。	今の施設は取り壊し複合的に集約して、コンパクトに管理していく。場所については、ふれあい広場から豊寿荘周辺になる。
53	お金がないから縮小するというのは分かるが、どういうまちづくりをして、何をを目指すのか説明が抜けている。過疎債を使って建て替えてもランニングはかかる。何が必要かを議論し、何を大事にするかが資料に書かれていない。当たり前のことしか書いていない。15000 人をキープする説明をし、重点的に投資する必要がある。	大事なお意見をいただいたと思っている。公共施設の再編とまちづくりは切り離せない。整備計画で活かしていく。
54	改修・更新費用が 40 年間で約 300 億円というのを反映した場合に赤字ということだが、新たに施設を整備したら赤字になるのかどうか。	今は規模感がまだ見えていない中であり、何とも言えない。しっかり進めていきたい。
55	施設を潰したあとの跡地利用が見えてこない。公共施設だけでなく、職員の数などもみて、全体を総合的に考えて提案いただきたい。	人口が減ると職員の数も減る。跡地は売れるものは売る。跡地は、例えば芝生広場などにも利用できる。これからご意見をお聞きしながら進めていく。